



2023年7月11日

株式会社野村総合研究所

## 野村総合研究所、サプライチェーン上の データ連携基盤プロトタイプを開発

株式会社野村総合研究所（以下「NRI」）は、経済産業省および情報処理推進機構のデジタルアーキテクチャ・デザインセンター（以下「DADC」）が発行した「サプライチェーン上のデータ連携の仕組みに関するガイドラインα版<sup>1</sup>（以下「ガイドラインα版」）」を踏まえて、独自にデータ連携基盤のプロトタイプを開発しました。このシステムは、NRIが開発した温室効果ガスの排出を追跡するカーボントレーシングシステム（NRI-CTS）<sup>2</sup>をはじめ、国際標準に準拠したソリューションをつなげてトレーサビリティを実現することができます。NRI-CTSは、タイ、中国などの日本企業のサプライチェーン網が広がる海外での展開を予定しており、今後、NRI-CTSが展開する海外において、日本国内で経済産業省およびDADCが定めるデータ連携基盤の仕様を踏まえて、データ連携を可能にしていきます。

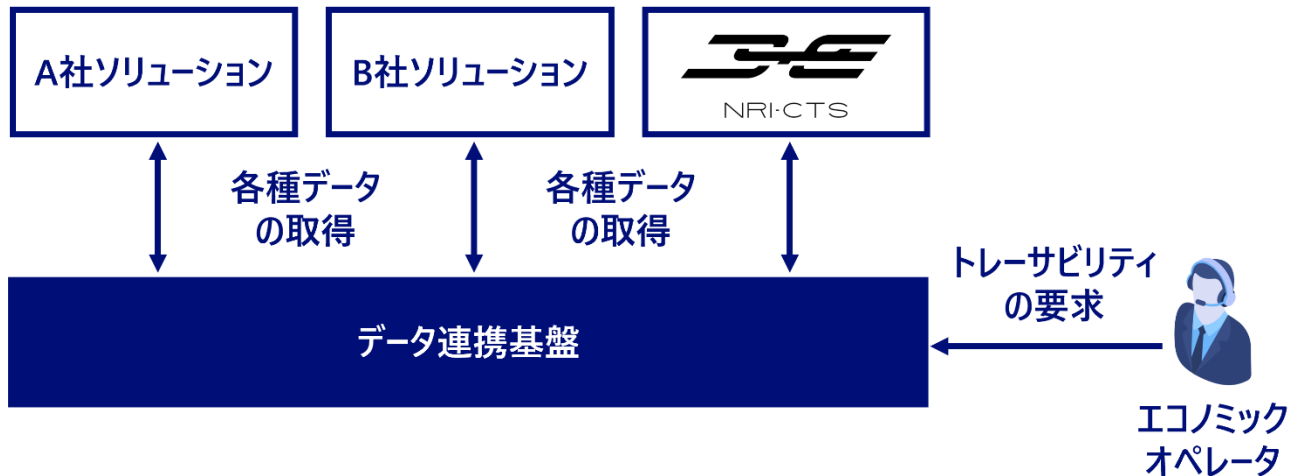


NRI-CTS

今回のデータ連携基盤プロトタイプは、「ガイドラインα版」に基づき、NRI-CTSのアクセスコントロール機能やトレーサビリティ機能を発展させる形で独自に開発したものです。欧州電池規則や国境炭素調整措置への対応が迫られる中で、今回の開発経験をふまえ、自社でカーボンフットプリント算定・デューデリジェンスアプリケーションを開発する企業に対して、情報提供を行います。

また、今後、経済産業省およびDADCからガイドラインがβ版、第1版と更新されることが予告されていますが、これらのバージョンアップを踏まえてNRIデータ連携基盤プロトタイプとNRI-CTSを更新していくことで、NRI-CTSの国内外の利用者にデータ交換を円滑にできる環境を提供していきます。

図：データ連携基盤プロトタイプ活用イメージ



出所：NRI

- 1 サプライチェーン上のデータ連携の仕組みに関するガイドラインα版については次の URL をご参照ください。  
[https://www.ipa.go.jp/digital/architecture/Individual-link/ps6vr7000001m4n6-att/guideline\\_for\\_datacooperation\\_in\\_BattCFPDD.pdf](https://www.ipa.go.jp/digital/architecture/Individual-link/ps6vr7000001m4n6-att/guideline_for_datacooperation_in_BattCFPDD.pdf)
- 2 NRI-CTS の開発に関しては次の URL をご参照ください。[https://www.nri.com/jp/news/info/cc/lst/2021/1215\\_1](https://www.nri.com/jp/news/info/cc/lst/2021/1215_1)

**【お知らせに関するお問い合わせ】**

株式会社野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部 玉岡  
TEL：03-5877-7100 E-mail：kouhou@nri.co.jp

**【本件に関するお問い合わせ】**

株式会社野村総合研究所 コンサルティング事業開発部 植村、福岡ソリューション開発一部 岡田  
E-mail：nri-cts-pr@nri.co.jp